



エシカル通信

人や社会、地球環境、地域に配慮した消費
毎日の暮らしの中でできること



令和2年11月7日（土） 参加者10名 飯田水引でシトラスリボンを作ろう

生活の中にエシカル消費を取り入れるヒントを楽しく学ぶ「エコカフェ講座」(@りんご並木のエコハウス)。今年度3回目を11月7日（土）に行いました。地域の伝統工芸に触れることもエシカル消費のひとつ。今回は飯田の水引を使ってシトラスリボンのストラップを作りました。



「シトラスリボンプロジェクト」とは愛媛県から始まった市民運動で、新型コロナウイルス感染症の患者や医療従事者など、だれもが地域で笑顔で暮らせる社会を目指したものです。愛媛県特産の柑橘にちなみ、シトラス色のリボンや専用のロゴを身につけ、不幸にも感染してしまった方であっても、治癒したら「ただいま」「おかえり」と、地域で迎え入れる気持ちを表す活動を広めている。3つの輪は、地域と家庭と職場（もしくは学校）を表している。



講師は飯田水引協同組合
理事長 岩原克典さん



飯田の水引の歴史も
学びました



やってみると意外と難しい…
分かりやすく教えてください
ました



はじめての水引作り
できあがりに大満足
です♪

参加者のみなさんの感想

飯田、南信州地域での水引の伝統、歴史を初めて聞くことができ、興味深く知ることができました。リボン作成、分かりやすく楽しかったです。参加してよかったです。

飯田の伝統である水引というものに初めて触れて作品を作れ、プロジェクトに参加できました。コロナの偏見がなくなるよう、これを機に広めていきたいと思います。



教えていただき、一つの形になって嬉しく思います。まだ一人では作ることが難しいかと思いますが、練習してみたいと思います。

令和2年11月22日（日）

エシカルシンポジウム（エシカルに染まる秋 in 南信州）

11月22日（日）に飯田市役所にて「エシカルシンポジウム」を開催しました。講演会とパネルディスカッションという二部構成で行いましたが、今年はコロナ禍ということもあり、オンラインを取り入れての開催となりました。



講演会の講師は大学院大学至善館教授・幸せ経済社会研究所所長 枝廣淳子さん。テーマは「持続可能で幸せなまちづくり～地消地産がもたらすもの～」



パネルディスカッションではSDGsに取り組む市民の代表、佐藤市長、そして講演会講師の枝廣さんとの対談となりました。



感染対策が取られる中、飯田市の森林、水引、農業についての対談を大勢の方が熱心に聴講されました。この模様は当日YouTubeでライブ配信されました。

おしらせ

当日の動画がYouTubeでご覧いただけます。飯田市のウェブサイトにリンクがありますのでそちらからアクセスしてください。

エシカルシンポジウム

エシカルコラム 【アップサイクル】

「アップサイクル」という言葉をご存知ですか？本来なら捨てられてしまう廃棄物に、デザインやアイデアといった新たな付加価値をつけて、別の新しい製品にアップグレードすることです。例えば捨てられたカラービニール傘をステキなトートバッグに仕立てたり、廃ガラスや廃プラスチックをアクセサリとして生まれ変わらせたり、古くなったソーラーパネルをカッコいいテーブルにしたものもあります。反対に着なくなったTシャツを雑巾にするというのは、ごみとして廃棄することが前提となるので、ダウンサイクルと言います（決して悪いことではありません）。今世界中で注目されているアップサイクル製品。世界で一つだけのデザインのものに出会えたり、その製品のストーリーを想像することも楽しいかもしれません。